



ホワイトボードを使って解説する住田さん

老後の人生、生き活きと！

■住田裕子と未来を描こう！おすすめ講演会

6月25日、相良総合センターい〜らで「住田裕子と未来を描こう！おすすめ講演会」が開催され、市民や関係者など約260人が参加しました。

弁護士のほか、NPO法人長寿安心会の代表として、安全安心な長寿社会づくりのために活躍している住田さんは、「健康寿命を伸ばすための3つの『キン』」などの具体例を示しながら、「新しいネットワークづくり、謙虚なコミュニケーションがセカンドライフの充実につながる」とアドバイスをしました。

スマホで暮らしをより豊かに

■スマホ講座

市では6月から来年2月までの予定で、スマートフォン（スマホ）をもっと使いこなしたい人を対象に、カタショー・ワンラボ（旧片浜小学校）で「スマホ講座」を開催しています。

この講座は、入門編から応用編まで4段階にレベル分けされており、学びたい内容に合わせて受講することができます。6月30日に開催された「基礎編」では、13人の受講者が写真の撮り方、Wi-Fiへのつながり方、アプリのダウンロード方法などを実践しながら学びました。



講師からカメラの操作方法を教わる受講者

花火シーズン前の安全指導

■花火教室

6月21日、坂部保育園の3～5歳児50人を対象に、花火教室が行われました。

この教室は、各家庭で安全に楽しく花火ができるようにと、消防署員などが講師となって毎年行われています。園児らは「正しい花火の持ち方」「大人と一緒に花火をすること」「燃えやすいものや人に花火を向けない」などの注意点を教室で学んだ後、園庭で実際に手持ち花火を使い、正しい遊び方を学びました。参加した園児は「怖がらずに花火ができた」と楽しそうに話しました。



消防署員の指導を受けながら花火を楽しむ園児

牧之原市中小企業者等のデジタル化推進に関する連携協定 締結



協定書を手にする3者の代表者

3者が連携してデジタル化を加速

■中小企業者等のデジタル化推進に関する連携協定を締結

市商工会、島田掛川信用金庫と本市は6月22日、市内の中小企業者などのデジタル化推進に関する連携協定を締結しました。

3者は今後、それぞれの強みを活かしながら、中小事業などのDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に関する現状把握や課題収集、体制づくりの支援などを進めます。

杉本市長は「この協定は市全体のデジタル化の底上げを目指すもの。多くの課題の解決や発展につながることを期待している」と話しました。



新しい学校づくりについて議論を深めるパネリストの皆さん

ミライの子どもたちのために

■新しい学校づくりシンポジウム

相良総合センターい〜らで6月11日、「新しい学校づくりシンポジウム」が開催され、市民ら約270人が聴講しました。

2030（令和12）年を目途に市内小中学校を再編し、2校の義務教育学校をつくる計画について市から情報提供が行われた後、千葉工業大学の倉斗綾子准教授が、全国の小中一貫教育の事例紹介などを交えて基調講演を行いました。

第2部のパネルディスカッションでは、倉斗准教授のほか、橋本勝教育長や市内在住教員の田平博道さん、保護者の渡辺彩子さんがパネリストとして登壇。静岡大学教育学部の島田桂吾准教授の進行のもと、それぞれの立場からの意見や疑問点などを述べ、議論を深めました。

全国の舞台でのリベンジを誓う

■野球の全国大会出場選手が市長を表敬訪問

女子学童軟式野球の県予選大会で優勝し、全国大会出場を2年連続で果たしたメンバーが6月20日、杉本市長を表敬訪問しました。

この日市長のもとを訪れたのは、鈴木惺羅さん（牧之原小6年）と、野村蒼空さん（川崎小6年）・藍依さん（同3年）姉妹の3人です。

3人が「今年は優勝できるようがんばりたい」と抱負を語ると、杉本市長は「本番に向けてしっかり練習して、ケガのないように、万全のコンディションで臨んでください」と激励しました。



写真左から、野村蒼空さん、藍依さん、杉本市長、鈴木さん



しょうゆの味の違いを確かめる児童

しょうゆの秘密をみんなで学ぶ

■しょうゆ博士による出前講座

6月9日・10日の2日間、牧之原小学校4～6年生（96人）を対象に、「しょうゆ博士による出前講座」が開催されました。

この講座では、歴史ある調味料であるしょうゆについて知ってもらおうと、日本醤油協会の西條喬さんが「しょうゆ博士」となってしょうゆの秘密などについて話し、児童たちは実際に諸味や搾りかすを食べて味の違いを楽しみました。西條先生は、「伝統的な和食文化を担うしょうゆを、大切に味わっていただきたい」と話しました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



ズームイン！
カシャ！！